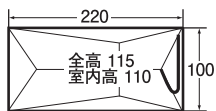


## ■ 仕様

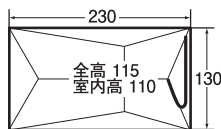
### ○ 寸法

※図中の単位はcmです。

- サンダードーム 1型  
#1122528



- サンダードーム 2型  
#1122529



### ○ 素材

- キャンビー：20デニール・ナイロン・メッシュ [難燃加工]
- フロア：70デニール・ナイロン・タフタ [耐水圧 2,000mmウレタン・コーティング]
- フライシート：40デニール・ナイロン・リップストップ [耐水圧 1,500mmウレタン・コーティング]
- ポール（メインフレーム：φ9.0mm、サブフレーム：φ10.2mm）  
7001 超タジュラルミン [アルマイト酸化皮膜加工]  
ショックコードつき

## ■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社 **モンベル** 本 社 〒550-0013 大阪市西区新町 2-2-2 Tel. 06-6531-3544 フリーコール：☎ 0088-22-0031  
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで モンベルホームページ <http://www.montbell.jp>

# mont・bell

## 取扱説明書

# サンダードーム

## Thunder Dome

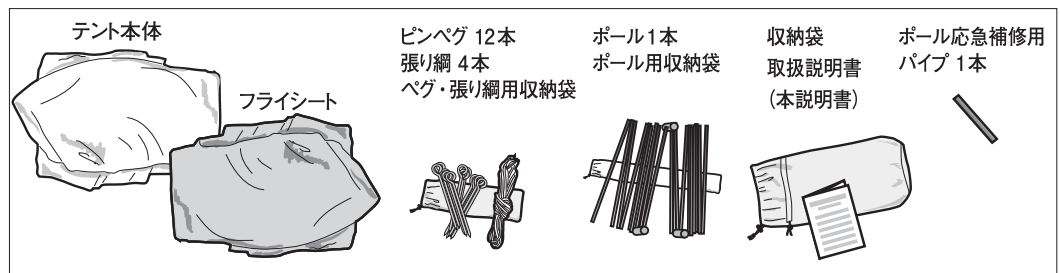
この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書（以下「本説明書」といいます）は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは（株）モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

## ■ 特長

本製品は居住性・通気性をテーマに開発された3シーズン用ドーム型テントです。キャンプや自転車ツーリングなどの使用に最適です。

## ■ 各部の名称



## ■ 安全上の注意 必ずお読みください

**⚠ 危険** 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品内や本製品の近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の恐れがあります。
- 出入り口やベンチレーターを常に開け、換気に充分ご注意ください。
- 台風、落雷、強風、豪雨、大雪などの厳しい自然条件の際は、キャンプ場の管理担当者の指示に従い安全な場所に避難してください。
- 河原や河川付近に設営する際は気象条件により突然増水することがあります。設営場所は特に注意してください。

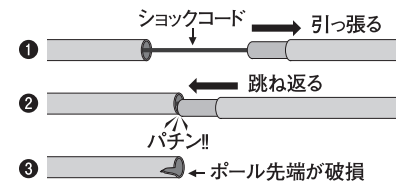
**⚠ 警告** 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。  
軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品を設営される際は、周囲の環境や気象条件などを充分考慮し、安全を確認してください。
- 出入口は風下側を選び設営してください。強風で本製品が飛ぶ恐れがあります。
- 本製品の設営の際は水はけがよく、出来るだけ平らな場所を選んでください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、充分に保護能力が発揮できない恐れがあります。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。

**⚠ 注意** 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- 稜線上や大木の近く、広い草原では落雷にも注意してください。
- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- 設営地はできるだけ平坦で、危険のない場所を選んでください。
- 使用の際は必ずペグと張り綱で固定してください。砂地や雪上では付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ設営する場所の地面の状態を確認してください。
- 本製品は太陽光線の紫外線により生地が劣化します。また、硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- 本製品に慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に必ず試し張りを行ってください。
- 各パーツや付属のペグには鋭利な部分があります。取扱いにご注意ください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないようにしてください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- ポールを通し TENT 本体を立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- 小さいお子様にポールの組立てや、ペグ打ちの作業をさせないでください。

- 本製品のフライシートの生地には防水加工が施されています。外気との温度差が大きいと、結露によって生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。本製品の換気を行うことで改善することができます。
- ポールを組み立てる際は、奥まで差し込んでください。奥まで差し込まないとポールが破損する恐れがあります。
- ショックコードを必要以上に伸ばさないでください。ポールが跳ね返った際、衝撃でポール先端が破損する恐れがあります（右図参照）。



## ■ 使用前の点検

- ☐ポールに亀裂などの破損がないか
- ☐生地に破れがないか

## ■ 使用方法

- **組み立て方法** ــ  
新しいテントに慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に、必ず試し張りを行ってください。

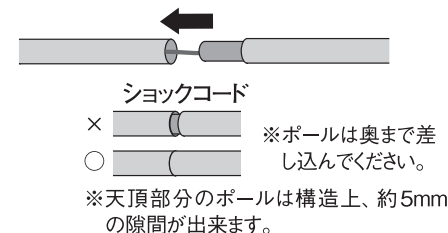
### 1. テント本体の組み立て

- ① テント本体をメッシュのついている面を上にして広げます。強風時は風でテント本体が飛ばされないようにペグで仮留めしてください。

- ② ポールの中に通っているショックコード通りにジョイントを接続し組み立てます（図A）。

※ショックコードを必要以上に伸ばさないように注意してください。

（図A）



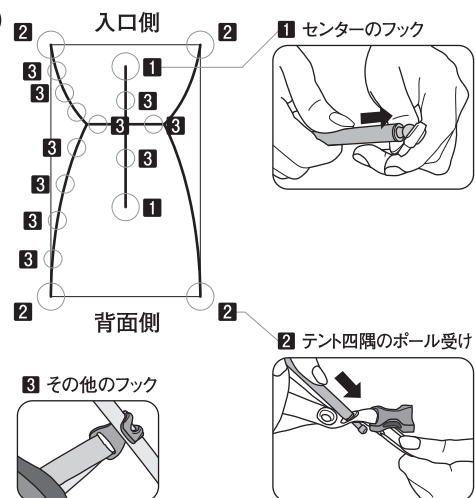
- ③ 組み立てたポールをキャノピーのポールフック基部のテープの色に合わせ、入口側を黄色、背面側を黒色に配置し、ポールフックを図の①～③の順にポールにかけていきます（図B）。

※この時ポールは最も長い状態となりますので、周囲に障害物や人がいないかを注意してください。

※ポール受けへのポールの固定は通常は外側で行ってください。雨、結露などで生地の張りが弱まった際は内側で行います。

※天頂部分の樹脂パーツに上下はありません。

（図B）

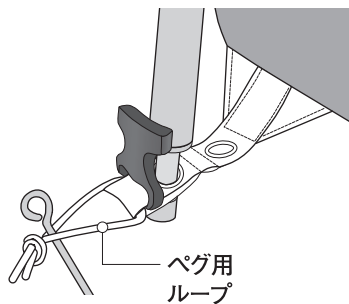


- ④ テントの本体の各コーナーに設けられたペグ用ループをペグで留めます (図C)。(図C)

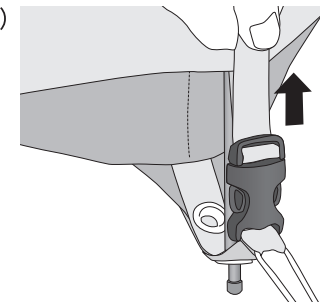
※ペグで留める際は、ペグをこれ以上打ち込めない深さまで、打ち込んでください。

※付属のペグが使用できないガレ場や砂地では別売のメッシュアンカーやスノーアンカーなどを用いて固定してください。

※フロアの防水性向上や保護のために別売りのグラウンドシートもご利用いただけます。(P7 参照)



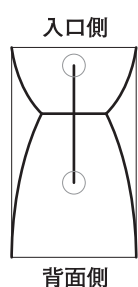
- ③ フライシート裾のバックル (4箇所) をテントコーナーのバックルに留め、締め具合を調整します (図F)。(図F)



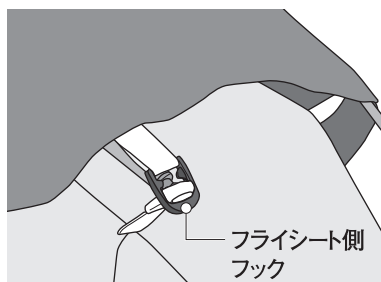
## 2. フライシートの取り付け

- ① テント本体とフライシートの出入口の位置を合わせ、フライシートをかぶせます。

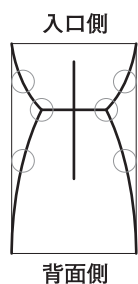
このとき、右図の○位置のポール先端にフライシート内側のフックをかけます (図D)。



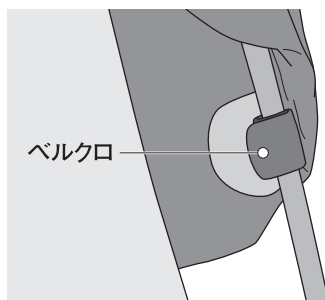
(図D)



- ② フライシート内側のベルクロでフライシートとポールを固定します (図E)。



(図E)

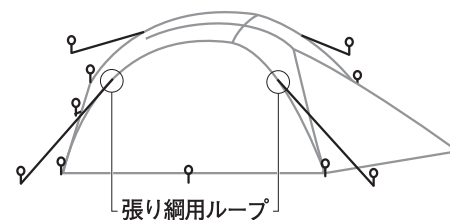


## 3. 張り網の固定

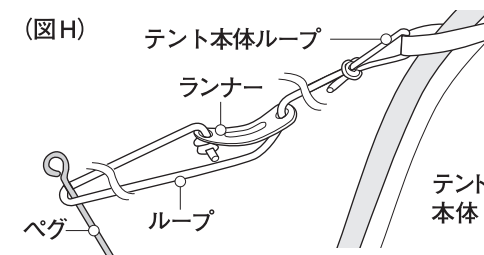
張り網は風が吹くことを想定して必ず取り付けてください。フライシート4カ所の、張り網用ループに付属の張り網を取り付けます (図G)。付属の張り網はランナー (自在金具 / 図H) がついており、ランナーを通したループをペグにかけて長さを調節します。フライシート裾部のペグ用ループについてもペグで固定します。なお、このテントにハンマーは付属していません。

※ペグで留める際は、ペグをこれ以上打ち込めない深さまで、打ち込んでください。

(図G) 1,2型



(図H)



※張り網用ループに張り網を結んだ状態で収納することで、次に使用する際に、設営しやすくなります。

## ○ 収納方法

### ① ベグを抜きます。

※ベグを引き抜く際は直接手で握らずに張り綱等を引っ掛けて抜いてください。ベグには鋭利な部分があり、直接手で握るとケガをする恐れがあります。

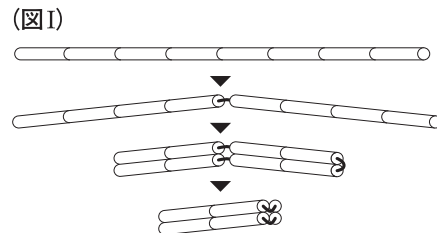
### ② フライシートを外します。

### ③ ポールをテント本体のフックから外してください。

### ④ ポールの端をポール受けから外します。その際ポールが跳ね返ると危険ですので、ポールが伸びきるまで手を離さないでください。

### ⑤ ポールを収納する際は真ん中から折りたたむようにします(図I)。こうすることにより、ショックコード全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばすことができます。

### ⑥ 収納袋の幅にテント本体を畳み収納します。その際、ベグは必ずベグ用収納袋に入れてください。そのまま収納すると本体生地を傷つけることがあります。

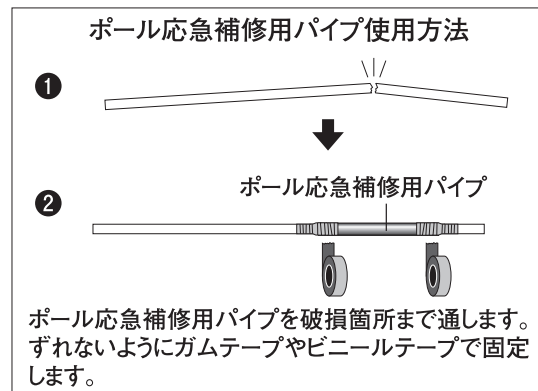


※図はイメージです。テントによって継ぎ数は異なります。

## ○ 破損時の対応

### 1. ポール

本製品のポールが万一破損した際は以下の通り応急処置をしてください。テント設営時に強風や豪雨などの理由によりポールが折れる場合があります。副木を添えて応急処置をすることもできますが、本製品の付属品であるポール応急補修パイプを用い応急処置も可能です。



ポール応急補修パイプを破損箇所まで通します。ずれないようにガムテープやビニールテープで固定します。

### 2. テント本体

生地の破損については別途リペアシートをご用意しております。

※下山後は修理を依頼してください。販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスにお問い合わせください。

## ■ お手入れ方法

間違ったお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- 長期の使用により、フライシートやフロアなどの撥水性能(水を弾く力)が低下した場合は別売のS.R.スプレー等の撥水スプレーをご使用ください。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。生地を傷める恐れがあります。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、別売りのスモースライダー™やローソクの口ウを塗ると回復します。
- ポールやベグは汚れを濡れタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗っておきます。ポールは接合部にのみ、塗布します。

## ■ 保管方法

- 本製品を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、直射日光の当たらない風通しの良い場所に保管してください。付属の収納袋は、携行性を重視しているため、きつめにたたまないといらないので使用を避けてください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

## ■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

## ■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違ったお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

## ■ オプション(別売)

本製品は下記の別売のオプションを利用することができます。

● クロノスドーム グラウンドシート 1,2型  
本体フロア生地の耐久性を高めるシートです。

● テントマット ドーム 1,2型  
適度なクッション性を持ち、地面の冷えを遮る中敷き用マットです。

● オプショナルロフト ドーム用  
天井部分のスペースを有効利用するためのネットです。

● メッシュアンカー  
付属のベグが使用できない河原やガレ場でのテントの固定に使用します。

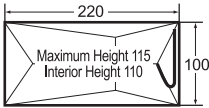


■ Specifications

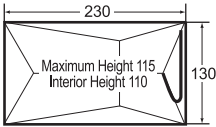
○ Dimensions

\*Units are in centimeters.

○ Thunder Dome 1  
#1122528



○ Thunder Dome 2  
#1122529



○ Materials

- **Canopy:** 20-denier nylon mesh (flame resistant treatment)
- **Floor:** 70-denier nylon taffeta (urethane coating, water pressure resistant to 2,000mm)
- **Rainfly:** 40-denier rip-stop nylon (urethane coating, water pressure resistant to 1,500mm)
- **Poles:** Anodized 7000 series aluminum with internal shock cord
  - Pole Diameter:** Main Frame: 9.0mm
  - Sub Frame 10.2mm

All product specifications and design are subject to change without prior notice. Actual product specifications may vary.

mont-bell Co.,Ltd.  
2-2-2 Shinmachi, Nishi-ku, Osaka 550-0013 JAPAN  
www.montbell.com

mont-bell

User's Manual

Thunder Dome

Thunder Dome

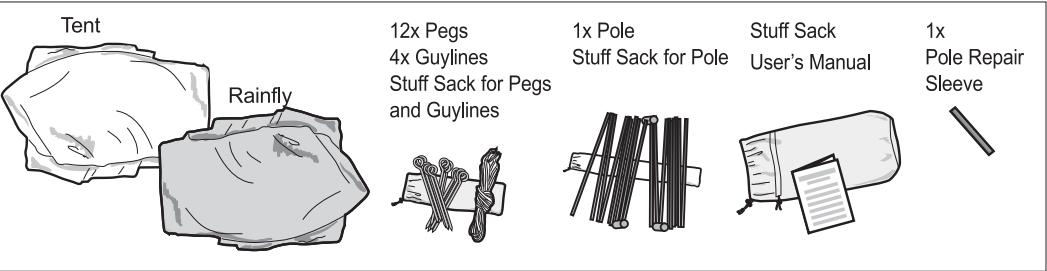
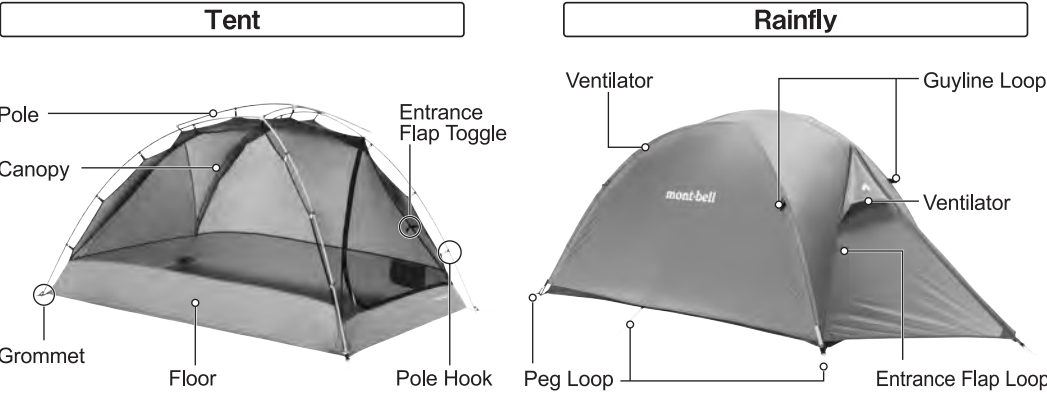
Thank you for purchasing this product. Before using, please carefully read this manual for instructions on the proper care and usage of this product.

If you have any questions regarding this product, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase. Keep this manual for future reference.

■ Description

This 3 season dome-style mesh tent has plenty of space and excellent breathability. Perfect for activities such as camping or bicycle touring.

■ Components



## ■ Safety Warnings! Please read carefully.



### Danger!

Under certain conditions, use of this product can result in major injury or death.

- Never place a flame source in or near your tent. Injury or death by fire and/or carbon monoxide poisoning is possible.
- Ventilate the tent at all times by keeping ventilators or tent door(s) open.
- Follow campsite instructions for evacuation and safety procedures when encountering harsh weather conditions such as typhoons, lightning, strong winds, heavy rain or snow.
- When selecting a campsite near rivers or river beds please take into consideration weather conditions can cause rivers to flood suddenly.



### Warnings!

Under certain conditions, use of this product can result in injury, death, or property damage.

- When selecting a campsite, check the safety of the surrounding area and be aware of weather conditions.
- When selecting a campsite, place the entrance of the tent downwind. Be aware this tent can be blown away by strong winds.
- When selecting a campsite, choose a flat area with good water drainage.
- Do not modify or alter this product. Improper modifications and alterations can damage the product and impair functionality.
- Prior to use, check the tent's condition and stop using immediately if you notice any deterioration from age/use, damage or irregularities.
- Please follow recommended care and storage instructions. Improper care and storage can lead to decrease in performance.



### CAUTION!

Under certain conditions, use of this product can result in injury or property damage.

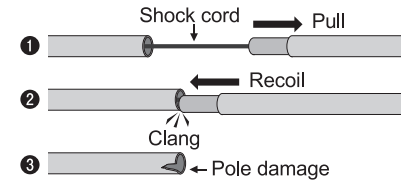
- Be careful of lightning in the mountains, when close to trees or in open fields.
- Only pitch tents in areas designated for camping.
- Choose a campsite free of danger and as level as possible.
- Use pegs and guylines to stake your tent at all times. The pegs included with this tent may not be suitable for all ground conditions, such as sand or snow. Before pitching the tent, check ground conditions to see if staking pegs is possible.
- Ultraviolet rays from the sun can damage the tent's fabric. Sulfur gas from natural hot springs can also shorten the tent's lifespan.
- Before using the tent for the first time, practice pitching the tent at home to familiarize yourself with the tent and its features.
- Be careful when handling pegs or tent parts as they have sharp edges.
- When assembling the poles, make sure all sections are fully inserted and be careful of pinching your fingers in between pole sections.
- When assembling the poles, make sure the area is clear and be careful of other people in the area.
- When attaching the poles to the tent, be careful of recoil.
- Do not allow children to assemble the poles or stake pegs.
- The rainfly has a waterproof urethane coating. Depending on the difference in temperature and humidity, water may condense on the inside of the rainfly. This does not mean the rainfly is leaking. Condensation can be prevented with adequate ventilation.

- When assembling the poles, make sure all sections are fully inserted.

- Poles may be damaged if not fully inserted.

- Do not pull the shock cord more than necessary. Recoil can damage poles as seen in the figure to the right.

- Colors can transfer when allowed to sit for an extended period of time while wet.



## ■ Prior to use, inspect this product for:

☐ Cracks or damage to poles.

☐ Tears or damage to tent fabric and rainfly.

## ■ Directions

### ○ Setting up the Tent

Before using the tent for the first time, practice pitching the tent at home to familiarize yourself with the tent and its features.

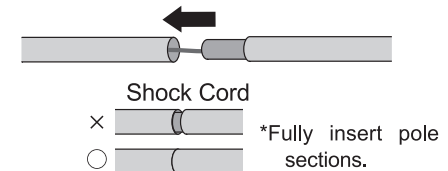
### 1. Pitching the Tent

- ① Spread the tent on the ground with the mesh side facing up. If there are strong winds, temporarily stake the tent with pegs.

- ② Assemble the poles (see Fig. A).

\*Do not pull the shock cord more than necessary.

(Fig.A)

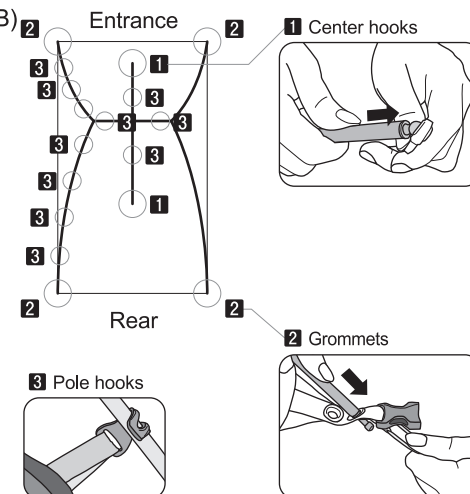


- ③ Match the pole colors to the straps of the pole hooks on the tent, yellow for the entrance, black for the rear. Attach the pole hooks to the poles in locations 1, then 2 and finally 3 (see Fig. B).

\*When assembling the poles, make sure the area is clear and be careful of other people in the area.

\*In regular, dry conditions insert the pole ends into the outer grommets. In wet conditions where the fabric can sag, insert the pole ends into the inner grommets.

(Fig.B)

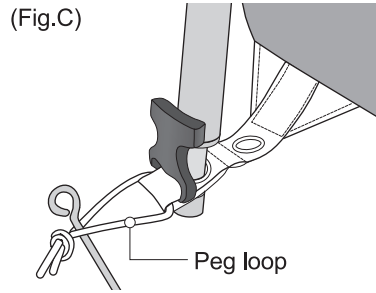


④ Stake each corner of the tent using the peg loops (see Fig. C).

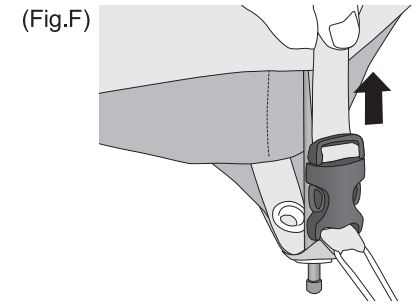
\*Stake pegs as deep as possible, however do not allow the tent's peg loops to come into contact with the ground.

\*When staking a tent in rocky or snowy conditions, consider using a mesh anchor or snow anchor (sold separately).

\*To protect the tent floor, consider using a ground sheet (sold separately, see p. 7)

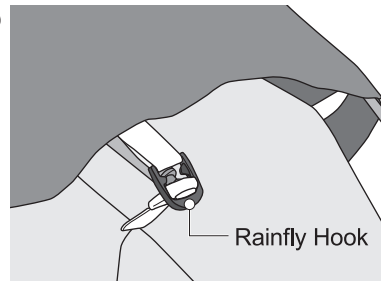
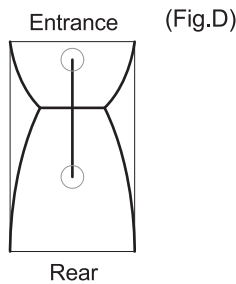


③ Secure the rainfly to each corner of the tent using the buckles and adjust using the straps (see Fig. F).

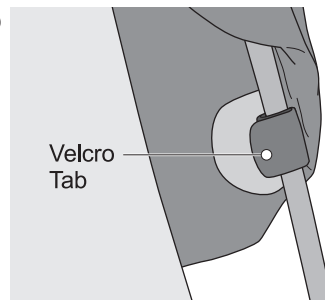
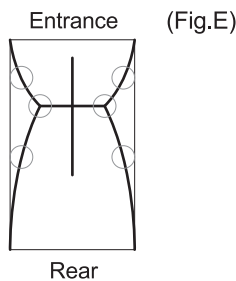


## 2.Attaching the Rainfly

① Align the entrances and place the rainfly over the tent. When doing so, attach the rainfly to the pole in the locations marked in the figure on the right (see Fig. D).

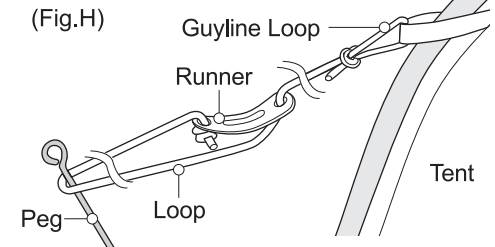
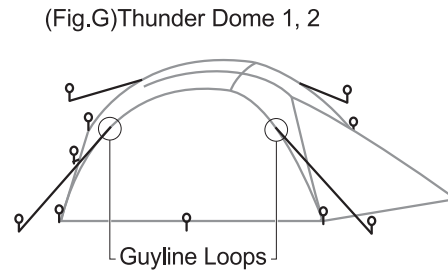


② Secure the rainfly to the poles using the Velcro tabs on the inside of the rainfly (see Fig. E)



## 3.Staking the Tent

Always secure the tent with guylines in windy conditions. Fix the guylines to the guyline loops on the corners (see Fig. G). Use the runners to tension the guylines to staked pegs (or optional anchors, see Fig. H). Stake the bottom of the rainfly with pegs. Please note that a hammer for staking pegs is not included with this tent.

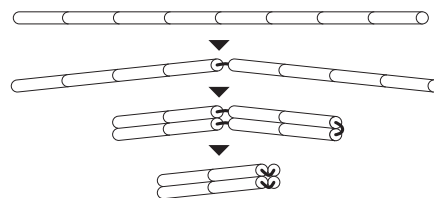


\*Consider leaving the guylines attached to the guyline loops at all times for quick and easy setup.

## ○ Taking Down the Tent

- ① Hook something around the pegs, such as the guylines, to pull pegs out of the ground.  
\*Do not pull out pegs with your bare hands. Edges may be sharp enough to cause injury.
- ② Remove the rainfly.
- ③ Remove the pole hooks from the poles.
- ④ Remove the ends of the poles from the grommets. Firmly hold the poles until the poles are no longer at tension as there is a risk of injury due to recoil.
- ⑤ When taking apart the poles, fold starting at the middle (see Fig. I). This extends the life of the shock cord by placing an equal amount of tension over the entire length of the cord.
- ⑥ Fold the tent into the same width as the stuff sack for easier storage. To prevent damaging the tent's fabric, store pegs separately in their own stuff sack.

(Fig.I)

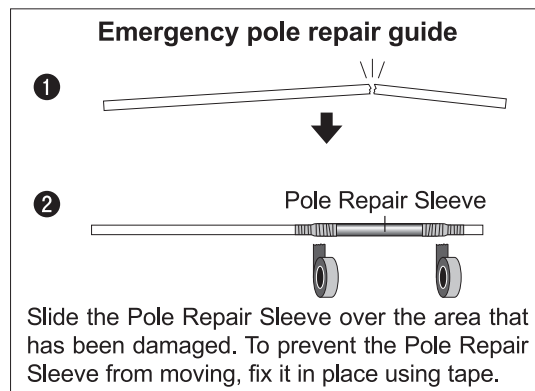


\*Illustration. Actual tent pole length and number of sections may vary.

## ○ Emergency Repair

### 1. Pole

In case a pole breaks, use the following procedure to temporarily fix the pole. When pitching the tent it is possible to damage the poles during heavy wind and rain. Although it is possible to use a splint to temporarily fix the pole, we recommend using the Pole Repair Sleeve that was included with your tent.



### 2. Tent

If the tent fabric is damaged or tears, temporarily apply a repair sheet (sold separately).

\*Afterwards, contact the store where the tent was originally purchased or Montbell Customer Service for information on permanent repair.

## ■ Care

- Wash away stains and soiling with water. Avoid direct sunlight and allow to air dry in a cool well ventilated area. If stored wet or soiled, mold can grow and the fabric can start to prematurely deteriorate.
- Over time the tent floor and rainfly's water repellant treatment will deteriorate. To restore the tent's water repellant abilities, reapply a water repellant spray (sold separately).
- Do not dry clean or wash in washing machine. This can damage the tent's fabric.
- If zipper movement becomes stiff, use Smooth Slider (sold separately) or candle wax to restore functionality.
- Use a damp cloth to clean the poles and pegs. Afterwards apply a silicone lubricant. For poles, only lubricate the joints.

## ■ Storage

- When storing for an extended period of time, store loosely in a well ventilated, cool, dry place out of direct sunlight. Tents are not designed to be stored long term in their stuff sacks and should only be used for transporting the tent.
- To prevent deforming and damage to the tent, do not store near heat sources.

## ■ Disposal

- Please follow local regulations regarding waste disposal.

## ■ Warranty

Montbell's warranty covers all defects in materials and workmanship to the original owner, for the lifetime of the product. If a product ever fails due to a manufacturing defect, Montbell will repair or replace the product at our discretion. This warranty does not cover damage(s) caused by accident, improper care, negligence, misuse, alterations or normal wear and tear. Damage(s) not covered under warranty will be repaired at a reasonable rate. If you would like to make a warranty inquiry, please contact Montbell Customer Service or the store of original purchase.

## ■ Accessories (Sold separately)

The following accessories are available for use with this tent.

- **Chronos Dome 1, 2 Ground Sheet**  
Ground sheet for protecting tent floor.
- **Optional Loft For Dome Tents**  
Attach to the ceiling for additional space.
- **Tent Mat Dome 1, 2**  
A mat with an appropriate amount of cushioning and for preventing loss of heat through the ground.
- **Mesh Anchor**  
An anchor for use in rocky terrain.